

---

# 白い夜叉を纏う閃光

白鷗 斬月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

白い夜叉を纏う閃光

### 【Zコード】

N4780N

### 【作者名】

白鷗 斬月

### 【あらすじ】

攘夷戦争から数年後…。

再会する兄弟…そして、動き出す歯車。

## プロローグ

『その男、白い夜叉を纏い戦場を駆るスピードは、一筋の閃光に…』

攘夷戦争で呼ばれた二つの名は…

～迅速の月光～

『その男、銀色の髪に血を浴び、戦場を駆る姿はまさしく…夜叉』

攘夷戦争で呼ばれた二つの名は…

～白夜叉～

なあ、銀時

ん？

この戦争が終わったら、どうしたい？

ンだよ、いきなり？

… そうだな、先生はいないけど、また、みんなと一緒に過ごせたらいいな…

… そうだな、俺も賛成だ。みんなと一緒に…

なあ？

ん？

… 今言つたこと、忘れんなよ。

… ああ、わかった。忘れない。

## 第一話『夢の中の記憶』（前書き）

感想をお待ちしております！

では、本文どうぞ

…短いです

## 第一話『夢の中の記憶』

「ツー！」

ガバリと勢いよく布団から起き上がる。

「……んだよ、チクシヨー……」

辺りを見回してから溜め息を吐くと、のつそつと居間へ移動する。どしどしそ寝たくても、夢のせいで寝られないだろう。

「懐かしいな……時雨が出て来る夢なんて……」

いつ以来だらうか？と思しながらソファーに座つてると、インター ホンが鳴った。

新ハだらう、と予想して、今考えていたことを振り払う。子供は勘がいいから、心配されても困る。

別にもう、いいだらう……

時雨はもう……

いないのだから……

## 第一話 《夢の中の記憶》（後書き）

質問があれば、どうぞ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4780z/>

---

白い夜叉を纏う閃光

2011年12月16日19時49分発行